

授業科目名 <英訳>	インド古典学(講読) Indological Studies (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 藤井 正人					
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	月4	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	サンスクリット初級演習(初期サンスクリット[ヴェーダ語])										
【授業の概要・目的】											
サンスクリット基礎文法の既習者を対象とする初級演習。比較的簡単なヴェーダ散文を読みながら、初期サンスクリット(ヴェーダ語)の文法と構文の基礎を習得する。											
【到達目標】											
サンスクリットの文章を正確に分析する技法を学ぶことによって、どの時代の、どのジャンルのサンスクリットにも対応できる読解力の基礎を身につける。											
【授業計画と内容】											
サンスクリット基礎文法の知識である程度読むことのできる『シャタパタ・ブラーフマナ』を教材にして、ヴェーダ散文の手ほどきを行う。そのあと、代表的な初期ウパニシャッドである『プリハッド・アーラニヤカ・ウパニシャッド』の一節ないし数節を精読する。教科書とともに、アクセントを伴った校訂本のプリント(授業時に配布)を用いて、語句・構文・アクセントなど、テキストのすべての要素を分析して読解する方法を学ぶ。辞書については、初めのうちは教科書の語彙集を用いるが、徐々に本格的な辞書や語源辞典を使いこなすことを目指す。 第1回 アクセントの表記と機能について解説するとともに、テキスト読解に関する基本的な方法について指示する。 第2回～第15回 テキストを精読する。 定期試験											
【履修要件】											
サンスクリット文法既習者。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点(50%)と定期試験(50%)により評価する。											
【教科書】											
Lanman, C.R. 『A Sanskrit Reader』(Motilal Banarsidass) ISBN:978-81-208-1363-2(インド学研究室にて購入できる。)											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
【授業外学習(予習・復習)等】											
毎回の予習・復習が必須である。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											